

第3学年 組 学級活動指導案

指導者 倉持 貴子 (T1)
○○ ○○ (T2)

1 題材名 友達になろう

2 題材設定の理由

(1) 題材について

本題材は、小学校学習指導要領特別活動2内容A学級活動の(1)「学級や学校の生活の充実や向上に関すること」を受けて設定した。

3年生は、友達によさを認められるようになり、学級の中での自己の存在感を得ることができるようになってくる。また、集団行動にも慣れてきて、班活動や係活動にも工夫が見られ自主的な活動が行えるようになる。しかし、仲間意識の強い人とは共に活動したり遊んだりするが、そうでない人とは共に活動することを避けたり力関係の強い方が仕事を一方的に押しついたりするという行動が見られる時期でもある。

そこで、学級の誰とでも協力して活動することができるようになるために、協力の大切さを学級全体に広げていきたい。その具体的な手立てとして、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、いろいろな友達と一緒に活動できる楽しさを味わわせ、ゲームを通して、動きを合わせて協力したりあたたかい言葉かけをしたりすることができるようにしたいと考え、本題材を設定した。

(2) 児童の実態 (男子 名 女子 名)

本学級は、素直で優しい気持ちを持った児童が多い。困っている友達に声をかけ、助けようとする場面が見られる。学校生活において、積極的に活動しようとする気持ちがあり、意欲的な面もある。反面、集団生活において、些細なことで口げんかや仲間はずれにするなど自己中心的な行動や、思いをうまく伝えられないために、友達とのかかわりをあきらめてしまう姿が見られる。

児童	行動に関する調査表から(各項目4点満点の平均値)	学級でのかかわり	本時の目標
A (特別支援学級在籍)	集団行動 : () セルフコントロール : 省 (省略) 仲間関係スキル : 略 コミュニケーション : ()	(省略)	(省略)
B	集団行動 : () セルフコントロール : 省 (省略) 仲間関係スキル : 略 コミュニケーション : ()	(省略)	(省略)

特別な教育的支援の必要な児童の様子を見ると、表で示すように、 (中略) 児童がいる。

3 活動計画

期 日	活動の場	活 動 内 容
5月15日	学級活動	2人組で協力して活動する。仲間関係のソーシャルスキルトレーニング「協力ボード渡し(ワニ池渡し)」のゲームをすることによって、「協力」を意識して相手の動きに注目し、動きを合わせる活動をする。
5月20日	朝の会	2人組で相手の動きに注目し、動きを合わせて活動する。「協力」の必要性を再度考え、「協力」の意識定着のために仲間関係のソーシャルスキルトレーニング「新聞列車」のゲームを行う。
5月28日 本 時	学級活動	仲間集めゲームでグループを作り、集まった4人のグループで協力して、仲間関係のソーシャルスキルトレーニング「協力ゲーム(まほうのじゅうたん)」を行う。

4 本時の活動

(1) ねらい

- ・ソーシャルスキルトレーニングを通して、いろいろな友達と一緒に活動できる楽しさを味わうことができる。
- ・ゲームを通して、動きを合わせて協力したりあたたかい言葉かけをしたりすることができる。

(2) 準備・資料

- ・掲示シート「あいさつの例(グループがすぐなかよしになるコツ)」「協力のコツ」
- ・コーン4つ
- ・動物の名前カード
- ・太鼓1つ
- ・ブルーシート6枚
- ・感想シート
- ・「友達のやさしさ発見カード」

(3) 展 開

児 童 の 活 動	教 師 の 働 き かけ 等	
	T 1	T 2
<p>1 友達と協力することについて前時までの活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなときに協力したか。 ・「協力ふりかえり表」ではどの☆に色が塗れたか。 ・今日の休み時間は、なんの遊びをしたか。 ・月曜日からの学校生活を振り返り、あたたかい言葉かけをした場面を思い出す。 	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの活動で、協力できたことについて話し合い肯定的に振り返ることができるようにする。 ・休み時間の友達とのかかわりやあたたかい言葉かけについてふり返らせる。 	<p>個別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A児がふり返り表についてのイメージが難しいときは、実際に示して、思い出す手がかりとする。 ・B児がこれまでに友達に対して、あたたかい言葉かけをした場面に触れ、賞賛する。
<p>2 本時の課題について理解する。</p>	<p>ソーシャルスキルトレーニングを行う。 「まほうのじゅうたん」</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>グループを作り、協力してゲームをしよう。</p> </div> <p>3 グループ作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの練習をする。 ・動物の名前を聞いて、その音数でグループを作る。 ・集まったら、まずあいさつする。 <p style="margin-left: 40px;">「ウサギ」 → 3人のグループ</p> <p style="margin-left: 40px;">「クロコダイル」 → 6人のグループ</p> <p style="margin-left: 40px;">「シマウマ」 → 4人のグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつしたら腰を下ろす。 	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の名前を言い、その音数の人数で集まることを伝える。 ・児童に「グループがすぐなかよしになるコツ」を示し、集まったらあいさつすることを伝え、まずみんなであいさつの仕方の練習するよう支援する。 ・児童数が24人なので、約数の音数の動物名を考え、グループ作りができるよう配慮したい。 ・動物名に関しては、A児の興味のある「クロコダイル」を取り上げ、活動の意欲付けとしたい。 ・動物の名前に合わせて太鼓をたたき、聴覚的にとらえられるようにしたい。 	<p>個別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にとらえられるように動物名のカードを示す。 ・「グループがすぐなかよしになるコツ」を掲示する。 ・A児がグループに入れないでいるときは、付き添って一緒に参加する。 ・B児がグループを作れないでいるときは、声をかけてくれそうな友達の近くに、意図的に移動するように促す。 ・他もグループに入れず戸惑っている児童には、仲間に入れるように誘導するなどして支援する。 ・あいさつをするのが難しいグループには、「グループがすぐなかよしになるコツ」カードを示し、一緒にあいさつする。 ・A児には、前回動きを合わせて上手にできたことを話し、ゲームへの意欲を高めたい。
<p>4 ゲーム「まほうのじゅうたん」に取り組む。</p> <p>(1) ルールの説明を聞く。</p> <p>(2) ゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3チームずつゲームをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・4人のグループで行う。 ・ビニールシートに4人が乗る。 ・2人目以降の児童は前の児童の肩に手をあてる。 ・かけ声をかけながら跳ぶようにして前に進む。 ・早くゴールにたどり着いたチームが勝ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のゲームは、4人が協力することが大切であることを助言したい。 ・前は、2人組でうまく協力できたことを振り返り、協力への意識を高めたい。 <p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの仕方について、不適切な場面の例をT2と示し、何がいけなかったか、どうすればよかったか考えさせたい。 ・児童の意見を取り入れながらかけ声をかけることと、動きを合わせることを示したい。 ・ゲームの仕方について、適切な場面の例をT2と示し、ゲームに生かしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B児がグループのメンバーにこだわっているときは、上手にあいさつができたことを褒め、4人で協力することへの意欲を持たせたい。 <p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの仕方について不適切な場面の例をT1と、示す。 ・児童の意見を黒板に書き、考えを深めさせたい ・「協力のコツ」の掲示シートを貼って示す。 ・適切な場面の例をT1と示しゲームに生かしたい。

<p>○ 6チーム同時にゲームをする。</p> <p>5 今日のゲームを振り返る。</p> <p>6 本時の学習活動を振り返りながら、仲間と協力することとあたたかい言葉かけについて、感想をワークシートにまとめる。</p> <p>7 「友達のやさしさ発見カード」の記入の仕方を聞く。</p>	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1ゲーム目の3チームについて、動きがよかったチームを賞賛し、どこがよかったかを全体で考えるよう促したい。 <p>個別</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉かけが上手なチームのところへ行き、言葉かけををみんなに示すよう促す。 A児がみんなと動きを合わせることが難しいときは、一緒にかけ声をかけて動きを合わせられるように支援する。 思いどおりにゲームが進まずB児が困っているようなときは、「元気づける言葉」「励ます言葉」をかけてゲームを続けるよう支援する。 うまく動きがあわなくて困っている児童には、あたたかい言葉をかけ合うことを助言する。 A児がチームで協力したり大きな声でかけ声をかけたことに触れ、学級の友達と仲良く学習できたことを評価し、交流学級の友達作りに自信を持たせたい。 B児が誰とでも協力してゲームができたことを評価し、発表につなげさせたい。 あたたかい言葉かけをした児童に対して、みんなの前で発表するように促す。 「協力」と「あたたかい言葉かけ」の意識が活動に現れていた具体的な場面を示して評価して、学級外の生活にも生かしていこうとする意欲を持たせたい。さらに、A児が友達と協力して楽しく活動していたことに触れ、友達となかよくするよさについても一度考えるように促す。 「友達のやさしさ発見カード」を配り、T2の話を書くように促す。 	<p>個別</p> <ul style="list-style-type: none"> 動きが上手なチームのところへ行き、動きをみんなに示すよう促す。 <p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2ゲーム目の3チームについて言葉かけがよかったチームを賞賛し、どこがよかったかを全体で考えるよう促したい。 1回目と2回目のゲームでよかったところ（言葉かけと動作）を、チームに取り入れてもう一度ゲームをすることを伝える。このとき、早くゴールすることより、「協力のコツ」が大切であることを再度助言する。 ゲーム終了後、児童に頑張った所やうまくできた所を聞き、協力し合った充実感を味わわせたい。 みんなで協力してとても楽しいゲームができたこと、「元気づける言葉」「励ます言葉」なぐさめる言葉」のモデルになるような言葉かけを紹介する。 今日の活動の感想を言い、今後の友達作りにおいて、協力することとあたたかい言葉かけの大切さを考えさせたい。 仲間と協力したりあたたかい言葉かけをしたりして頑張った気持ちをワークシートの絵に表情で表し、感想をまとめることを伝える。 今後、あたたかい言葉をかけてもらったときには、「友達のやさしさ発見カード」を書いて掲示することを伝え、スキルを日常の生活に生かすよう支援したい。
--	--	--

5 授業後の指導

- 児童のスキルを日常の生活に生かすために、職員と連携を図ったり、学級便りを通して保護者に知らせたりして、友達との協力や言葉かけの意識が定着できるようにする。
- 機会を見つけて、協力している場面やあたたかい言葉かけをしている場面をフィードバックして、声かけをすることによって、いろいろな友達と一緒に活動する意欲を高めるようにする。